

11/20
(日)

秋空の福島を満喫

第24回福島一周わいわいフェスタ 2022



恒例の福島陸上協友会（徳田詳吾会長）主催イベントが開催されました。

当日は、市内はもとより、遠くは北九州市や熊本県からも参加があり、老若男女約200人が福島町ふれあい広場前をスタート。コースはイロハ島や土谷棚田などの美しい自然景観を眺めつつ、心地よい秋風も感じられる全長約13kmで、それぞれのペースで福島の秋を満喫されました。

ゴールのふれあい広場では、福島の特産品がゴール順に配られ、福島地域の魅力に触れる機会となりました。

11/19
(土)

活動の想い、交わる

第59回県PTA研究大会松浦大会



学校や家庭、地域での教育のあり方や、PTAの役割について考える県PTA連合会（松本光生会長）主催の同大会が文化会館で開催されました。

大会の開催は3年ぶり、松浦市が開催地となるのは10年ぶりとなり、県内各地から約900人が参加しました。

開会行事後、大会実行委員長である大塚純司松浦市PTA連会長とゲストの3人が「PTAこれまでとこれから」をテーマに会場の参加者とともにトークセッションを行ったり、分野に分かれて研究内容の発表を行うなど、参加者が考えるPTA活動について多くの意見交換が行われました。

まちの話題

11/28
(月)

五感で学ぶ地元漁業



県主催の水産教室が鷹島小学校の5年生11人を対象に、新松浦漁業協同組合の鷹島支所荷捌所周辺で開催されました。

この取組は、漁業の担い手確保や育成を支援する事業の一環として毎年開催されています。

この日は、漁師さんが使うロープの結び方や水揚げされたトラフグについて学んだ後、養殖マグロの水揚げや加工風景を見学。お昼は漁業士さんに教わりながら自ら捌いた魚を味わいました。最後は〇×クイズで復習を行い、1日を通して地元漁業を楽しく学びました。

11/22
(水)

明るい社会の情報交換

松浦支部更生保護女性会（田中葉子会長）



同会は、会員61人で犯罪・非行の防止、青少年の健全な育成、罪を犯した人などの更生を目指し、小学校・更生保護施設訪問、登下校時の見守り活動、あいさつ運動などに地域単位で取り組んでいます。

この日は、各地区の役員9人が集まり、松浦駅と生涯学習センター（きらきら21）で奉仕作業を行いました。

参加した役員は「いい汗をかきながら各地区役員との交流も生まれた。今後もいろんな取り組みを行いたい」と思いを語りました。

12/4
(日)

3年ぶりの交流戦

第4回青のまち松浦大会



▲ B T ラリーで優勝した青のまち松浦 A

本市で開催された「ねりんピック長崎2016 バウンドテニス交流大会」を記念して、松浦市バウンドテニス協会（千代延幸子会長）が同大会を文化会館（ふれあいホール）で3年ぶりに開催しました。

福岡県、佐賀県および県内から10チームと、本市から6チームの計16チーム（96人）が集まり、熱戦を繰り広げました。

【優勝】 B T ラリー 青のまち松浦 A
団体ダブルス 多々良ドリーム（福岡県）

12/2
(金)

感謝を表す稲舞を披露

白浜神社 秋の大祭



志佐町白浜免にある白浜神社で、収穫への感謝を表す「稲舞」と来年の豊作を占う「的打ち」が奉納されました。

「稲舞」は松本望来くん（8歳）が収穫された稲穂の束を担ぎ、中川明宏宮司と共に舞を奉納。「的打ち」では、藁で作られた2枚の的めがけて中川宮司が矢を放ち、3本ずつ矢が刺さる様子で来年の豊作を占いました。

宮司は「後半、的の上側にスムーズに矢が刺さったので、下半期にかけて運勢が上がっていくでしょう」と話しました。

12/14
(水)

全国大会出場を報告

第31回全国小学生バドミントン選手権大会



野林勇斗さん（御厨小学校4年）が同大会（12月24日、いしかわ総合スポーツセンター（石川県金沢市）で開催）への出場報告に市役所を訪れました。

野林さんは鹿町ジュニアに所属しており、九州大会で準優勝を果たし、全国大会への出場となります。

野林さんは「全国大会制覇をめざして頑張ります。ベスト8には必ず勝ち残ります」と意気込みを語ってくれました。

12/6
(火)

地域を^な縋う、巨大しめ縄

笛吹神社例大祭



地域住民によって手作りされた大しめ縄が奉納されました。

とても多くの時間がかかる根気のいる作業を、毎年地区の住民が協力しあい、江戸時代から守り続けられている伝統行事です。

この日は、烏渡・馬伏地区、笛吹・日隠地区の住民約35人が稲わらを持ち寄り、長さ約10疋、重さ約350kg、太さ最大1疋の大しめ縄が完成。鳥居横にあるマキの木の間に張り、収穫への感謝と来年の無病息災、五穀豊穰を祈願しました。